

～ 感謝のお言葉を頂きました ～

「娘が髄膜炎・水頭症により昨年9月に入院し、今年の3月に退院しました。

PICUに緊急搬送された当時は、意識が回復するかどうか分からない状況でしたが、病院スタッフの皆様の献身的な治療、看護及び保育のおかげで、援助が必要ではあるものの、日常生活が送れるまで回復することができました。ありがとうございました。

また、娘だけではなく、付き添い入院していた私や当時妊娠中だった妻（2月に貴院で無事出産しました）のことも常に気遣っていただき、長くて辛い入院生活の中で、とても心強かったことを覚えています。

大病を患い、あわや大切な娘の命を失ってしまうような辛く苦しい出来事でしたが、思い返すと私たち夫婦にとって、これまでの人

生感を見直すことができた貴重な経験でした。

関わっていただいたたくさんの方々に対し改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。」

ご丁寧に投書を頂きまして、ありがとうございます。

ご家族の皆様が無事に退院されたとのことで、私たちも本当に嬉しく思っております。

頂いたお言葉は、職員の日々の励みとなっております。

今後も、より良い医療とサービスを提供できるよう努めてまいります。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「いつもお世話になっております。
アート作品についての問い合わせです。
拓桃館のひだまりラウンジにある『おむすび
とすいか』の作品が大好きで受診の度に子ども
と一緒にじっくり眺めています。
とても素敵な作品なのに作者名の記載がない
のが残念です。
『おむすびとすいか』のようなアート作品を
病院内にもっと展示していただけたら嬉しい
です。」

当院に展示してある作品を気に入って
いただき、大変うれしく思っております。

早速、「おむすびとすいか」の作品名と作
者名を掲示いたしました。

病院内に展示している絵画は、いずれも
ご寄付頂いた作品です。

今後もお寄付頂いた場合には、展示してま
いります。

これからも、当院にある展示物等を楽しん
でいただき、通院や入院する際のお気持ちを
少しでも軽くすることができましたら、嬉し
く思います。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「患者家族の者です。

4階に入院しておりました、●●●●の父の●●●●と申します。

先日、●産婦人科より子どもが転院いたしました、先ずは迅速な対応本当にありがとうございます。

さて、本日3月31日に退院したのですが、その際に保管していた前の病院の子どものネームタグは捨てたという旨を聞きました。●産婦人科のものとはいえ、母と子の物であるネームタグを勝手に捨てるというのはどうということなのでしょうか。

GCUにいた際には、ベットの頭側に保管してあったものです。転棟で引き継ぎの際に捨てる判断になったのかはわかりかねますが、本人に聞かずに捨ててしまうのは大変残念

です。探して頂けるとのことですが、何日も前のことなので、おそらく見つからないと考えております。私も特に妻も大変悲しい思いをしております。」

この度は、悲しい思いを抱かせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。

ネームタグの取り扱いにつきまして、ご家族の心情に配慮した対応ができておりませんでした。

今後、このようなことがないよう、都度確認をするなど対応を行うことについて指導してまいります。

病 院 長